

平成28年4月1日時点

平成28年度事業概要

庄内川 →

新川 →

五条川 →

国土交通省中部地方整備局
庄内川河川事務所

平成28年度 事業実施の考え方

- 平成27年9月関東・東北豪雨を受け策定した『水防災意識社会 再構築ビジョン』の「洪水を安全に流下するためのハード対策」の一環として、緊急的に流下能力対策の河道掘削等を実施し、早期に安全性の向上を図る。

<下流部>

- ◆ 河道断面が不足している区間(名古屋市中川区打出地区)において、河道掘削(しゅんせつ)工事を実施するとともに、名古屋市西区枇杷島地区において、堤防整備を実施

<中流部>

- ◆ 堤防の高さや断面が不足している、名古屋市西区山田地区において、堤防整備に必要な用地買収を実施

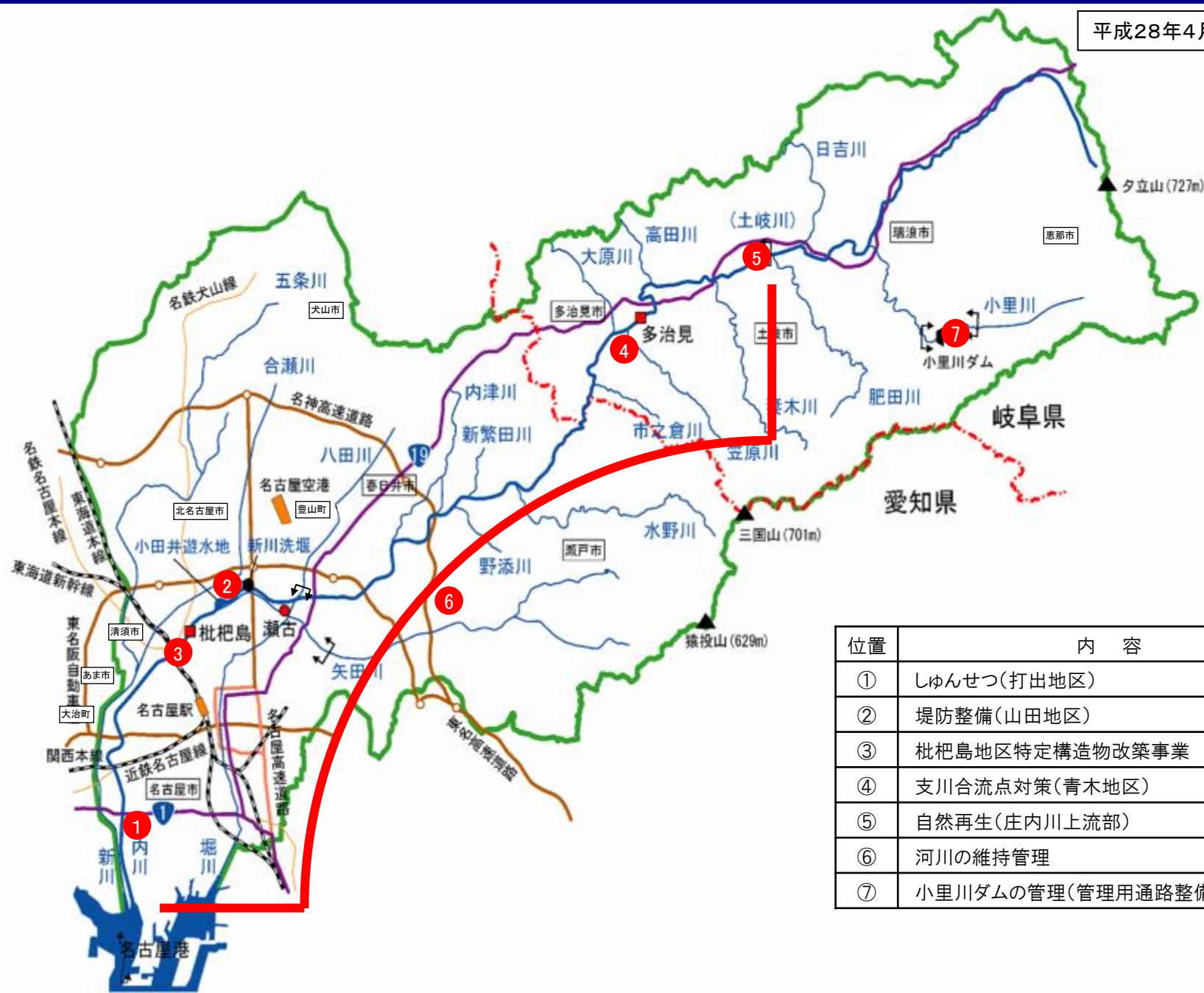
<上流部>

- ◆ 平成23年9月台風15号により甚大な浸水被害が発生した多治見市青木地区において、支川脇之島川の付替河川工事を実施

- また、「住民目線のソフト対策」として、流域市町と連携し、タイムラインの策定等を推進する。

事業実施箇所 位置図

平成28年4月1日時点

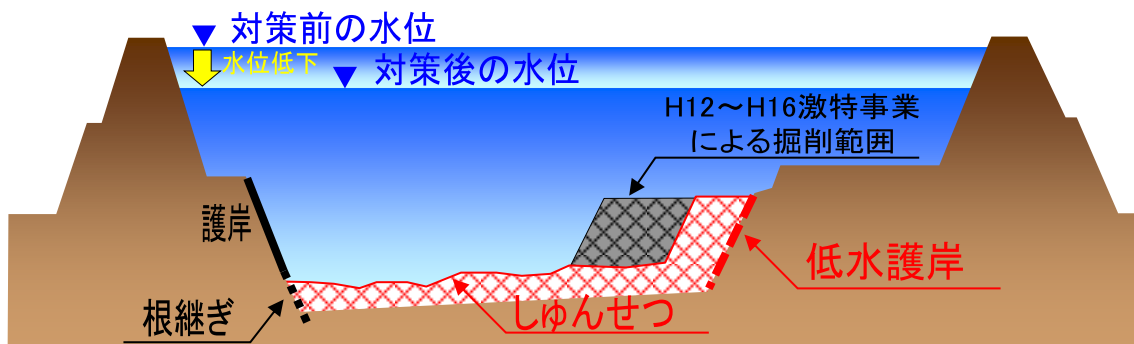
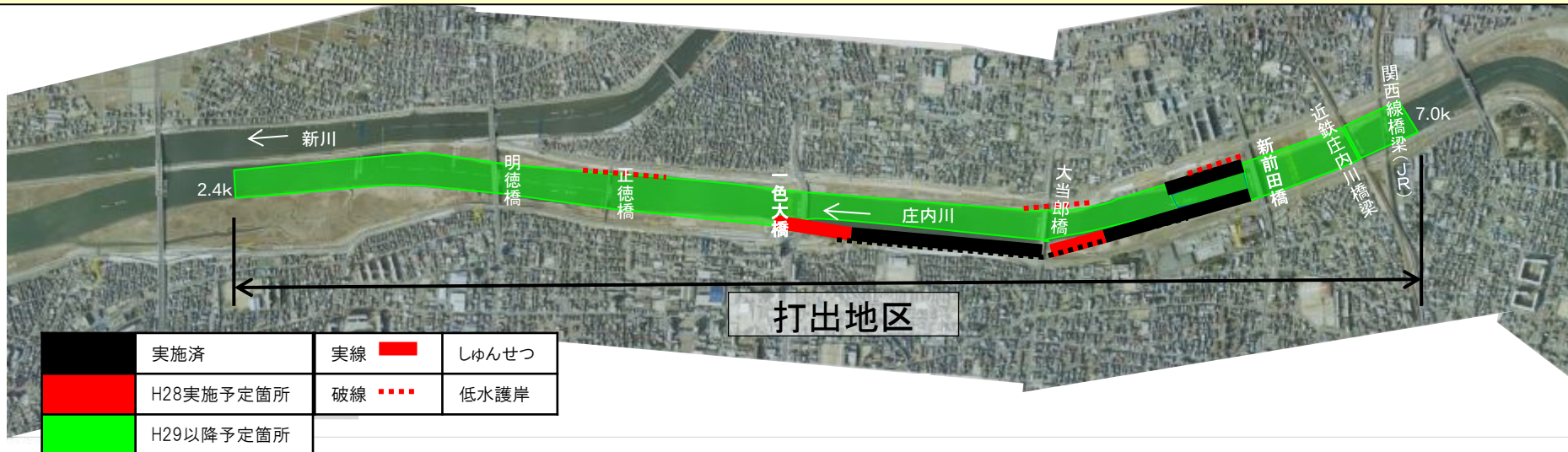


位置	内 容
①	しゅんせつ(打出地区)
②	堤防整備(山田地区)
③	枇杷島地区特定構造物改築事業
④	支川合流点対策(青木地区)
⑤	自然再生(庄内川上流部)
⑥	河川の維持管理
⑦	小里川ダムの管理(管理用通路整備)

① しゅんせつ(打出地区)

＜洪水を安全に流すためのハード対策＞

- 平成12年9月の東海豪雨を受け、緊急的に河道のしゅんせつを実施したところであるが、より安全に洪水を流下させるため、河道断面が不足している打出地区において、しゅんせつ工事を実施する。
- 今年度は、^{いっしきおおはし}一色大橋^{しんまえだばし}～新前田橋の間において、しゅんせつ及びしゅんせつに伴い必要となる低水護岸工事を実施する。



しゅんせつのイメージ



しゅんせつの施工イメージ

②堤防整備(山田地区)

＜洪水を安全に流すためのハード対策＞

- 平成12年9月に発生した東海豪雨と同規模の洪水を安全に流下させるため、堤防高さ及び断面が不足している山田地区において、堤防整備を実施する。
- 今年度は、堤防整備に必要な用地買収及び護岸工事を実施する。



堤防整備事例

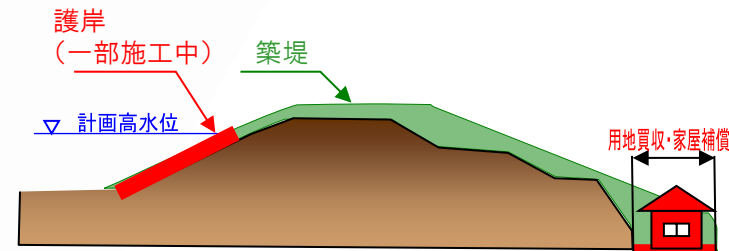
改修事業(西枇杷島地区)

整備前

完成



※ 今後の検討により、実施箇所が変更となる場合があります。



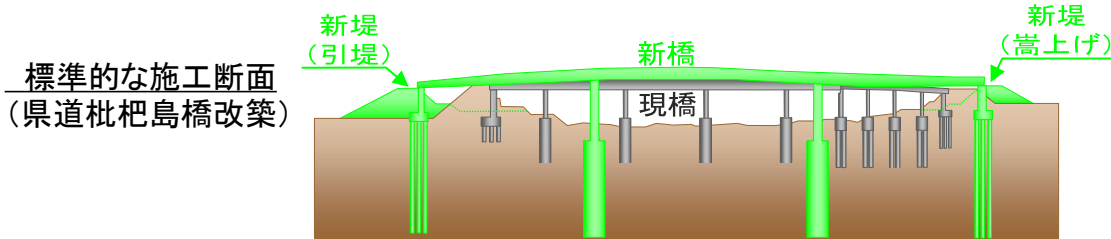
堤防整備のイメージ

平成23年度 庄内川西枇杷島築堤護岸工事(平成25年3月完成、堤防を嵩上げ)

③ びわく 枇杷島地区特定構造物改築事業

＜洪水を安全に流すためのハード対策＞

- 枇杷島地区は、庄内川の狭窄部であるとともに、県道枇杷島橋を始め、桁下高が低く、橋脚の間隔が狭い橋梁が横架しているため、洪水の流下に支障をきたしている。
- 洪水を安全に流下させるため、堤防整備(引堤)及び、橋梁架替による河道断面の確保を実施する。
- 今年度は、左岸の堤防整備を継続実施する。



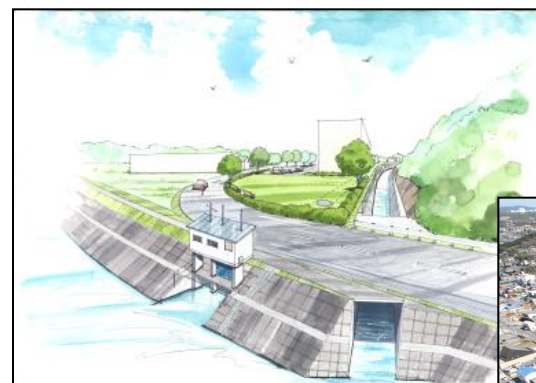
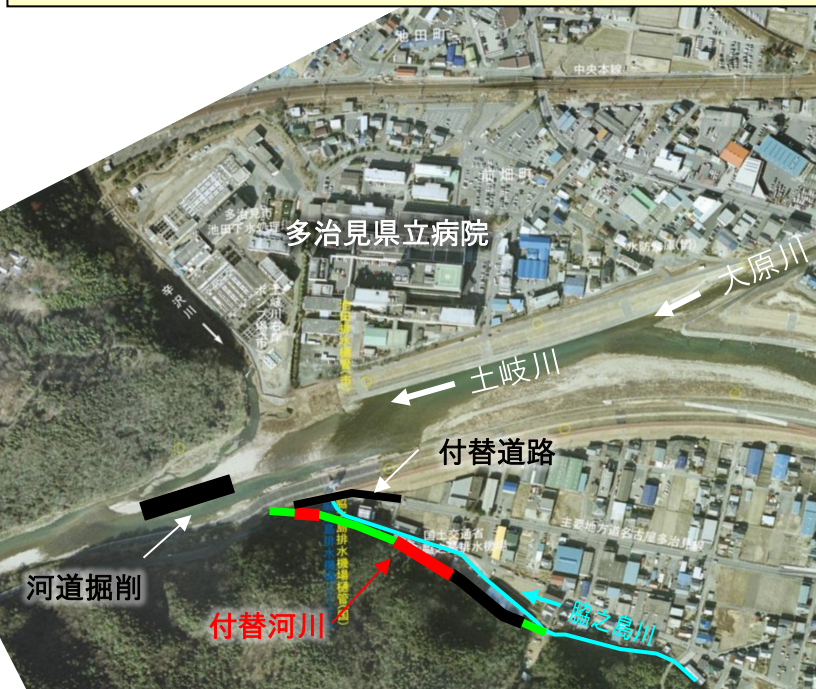
平成27年度工事実施箇所の状況



④支川合流点对策(青木地区)

＜洪水を安全に流すためのハード対策＞

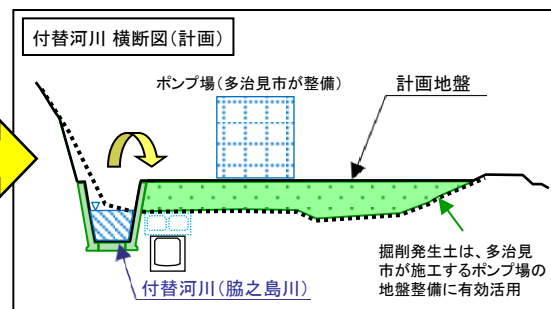
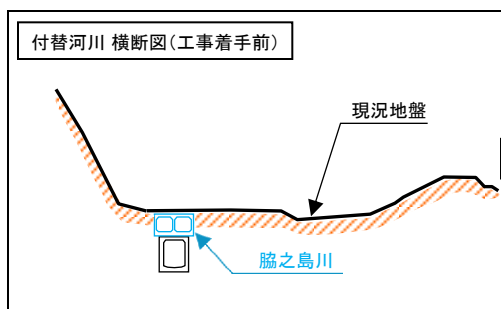
- 平成23年9月台風15号により甚大な浸水被害が発生した多治見市青木地区において、浸水被害を軽減させるために、国・岐阜県・多治見市により策定された「多治見市平和町、池田町、前畑町、田代町等浸水対策実行計画(平成24年7月策定)」を踏まえ、支川脇之島川の合流点对策を実施する。
- 今年度は、脇之島川の付替河川工事を継続実施する。



支川合流点の整備イメージ

	実施済
	H28実施予定箇所
	H29以降予定箇所

青木地区左岸



平成23年9月洪水 築堤整備箇所周辺の浸水被害状況

⑤自然再生(ときがわ土岐川地区)

- 洪水時の攪乱頻度の減少による河岸の陸域化などにより、河原固有の動植物を育んでいた浅瀬が減少し、そこを生息の場としていた生物の生息環境が悪化しているため、生物とのふれあいの場であるレキ河原再生を実施する。
- 今年度は、多治見市大正町及び、土岐市泉町においてレキ河原再生を継続実施する。

事業箇所①（多治見市）



事業箇所②（土岐市）



【レキ河原再生イメージ】



【再生前】

【再生後】

⑥河川の維持管理

- 災害を未然に防ぐ予防対策を確実に行うため、日常的に河川及び河川管理施設の巡視・点検・維持管理を行い、堤防、ポンプ等の河川管理施設の状態を常に良好な状態に保全する。

河川巡視(状況把握・施設点検)



ポンプ設備の点検



CCTVの更新



堤防除草



樋門の電動化

御幸排水樋門



(完成予想図)



排水樋門の上屋設置及び樋門の電動化を行う

樋門・水門の遠隔操作化

守山排水樋門

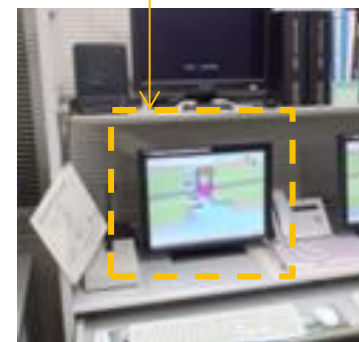


小田井水門



出水時等の災害時の緊急的な施設操作ため、
遠隔操作端末を増設する

(遠隔操作端末イメージ)



⑦小里川ダムの管理（岐阜県恵那市山岡町田代地先及び陶町地先）

- 小里川ダムは、洪水調節、河川環境の保全等のための流量確保及び、発電を目的とした多目的ダムであり、ダムを適切な状態で運用するため、365日、24時間体制で保守点検、監視を実施している。
- 今年度は、通常のダム管理に加え、貯水池の法面崩壊対策及び、法面崩壊対策に必要な管理用通路の整備を継続実施する。

小里川ダム



管理用通路整備（貯水池の裏面の崩壊対策）



堤体一般開放及びダム見学



管理用通路整備後



- ・ ダムの構造や役割について理解して頂くため、堤体内部を一般に開放。（土日、祝祭日含む）
- ・ 普段見られない操作室やダムのゲートなどが見学できる見学会などを開催。

平成28年度 庄内川河川事務所 関係予算

平成28年度事業費

(単位：千円)

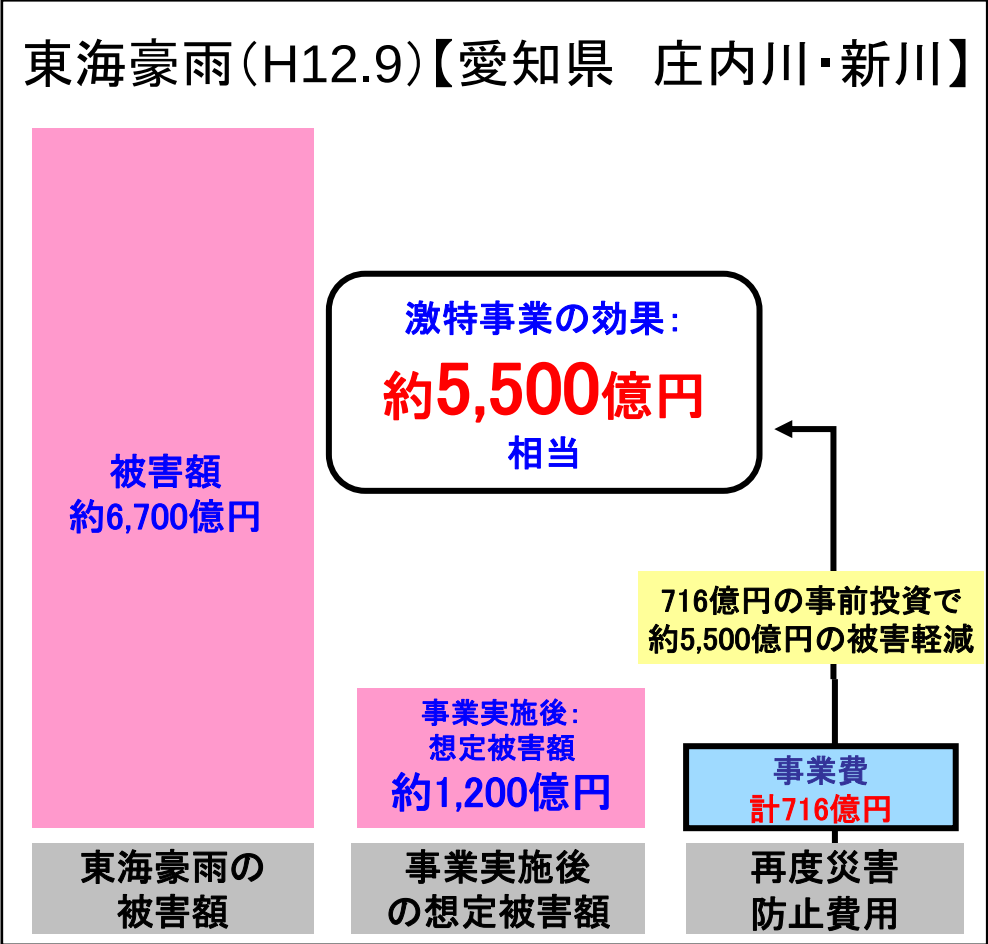
科目	費目	H27年度事業費	H27年度 補正予算	H28年度事業費	対前年比	H28関連事業
河川整備事業費	河川改修費	3,420,000	687,500	(3,888,500) 3,201,000	(1.14) 0.94	
	一般河川改修 (河川都市基盤整備事業費含む)	3,239,000	687,500	(3,727,500) 3,040,000	(1.15) 0.94	①、②、④
	特定構造物改築事業 (枇杷島地区)	181,000	—	(161,000) 161,000	(0.89) 0.89	③
	河川維持修繕費	643,500	86,000	(759,946) 673,946	(1.18) 1.05	⑥
	河川工作物関連応急対策事業費	25,150	—	(60,720) 60,720	— 2.41	⑥
	堰堤維持費	461,464	—	(476,432) 476,432	— 1.03	⑦
	小計	4,550,114	773,500	(5,185,598) 4,412,098	(1.14) 0.97	
都市水環境整備事業費	総合水系環境整備事業費	89,700	—	— 69,100	— 0.77	⑤
	小計	89,700		69,100	0.77	
合計		4,639,814	773,500	(5,185,598) 4,481,198	(1.12) 0.97	

※金額は、事業費ベース(業務取扱費を除く)

※平成28年度の上段()書きは、平成27年度補正含む

ストック効果事例①(河川改修による被害軽減: 予防的治水)

- 平成12年9月の東海豪雨では、約6,700億円の被害が発生した。
- 再度災害防止対策として、河川激甚災害対策特別緊急事業(H12~H16)において、築堤や河道掘削等の工事を実施した。
- 仮に、東海豪雨以前に同事業を実施していた場合、約5,500億円の被害が軽減できたと想定される。



ストック効果事例②(河川改修に伴う患者の憩いの空間の創出)

- 多治見市民病院前の堤防整備と併せて、病院がリハビリ施設へアクセスできる連絡橋を設置。堤防や河川敷が患者の憩いの空間となっている。



(古川多治見市長コメント)

「川を見れば、病気が早く治る。ぜひ患者の皆さんには、外に出て、川面を見ていただきたい。」

ストック効果事例③(小里川ダム・道の駅の相乗効果による地域活性化)

- 平成16年に完成した小里川ダムと合わせてダム湖畔に整備された道の駅「おばあちゃん市・山岡」は恵那市の観光交流拠点となっている。
- 恵那市の観光入込客数で恵那峡を抜き2位、年約55万人が来訪する観光地に。



小里川ダムと巨大水車が目印の道の駅

全員が地元在住！
従業員は**50名**
生産者は**450名以上！**
(旧山岡町人口約4,500人)

◆恵那市観光入込客数 BEST3

1位	道の駅そばの郷らっせいみさと	669, 977人
2位	道の駅おばあちゃん市・山岡	545, 113人
3位	恵那峡	497, 749人

恵那峡を抜いて第2位、
恵那市の人口の約10倍が来訪！

「小里川ダムの完成と合わせて道の駅が整備され、道の駅では地元の人やモノにこだわり、高齢者の活性化・農業の活性化、経験を生かした特産品開発を目指しています。ダムと道の駅の相乗効果で地域が活性化しています！」

(道の駅駅長談)

小里川ダム的一般開放

- 小里川ダムは平日、土日祝の午前11時～午後4時までダムの内部を一般の見学者に開放。ゲート室、展望テラス、ギャラリーなどが見学可能。
- これに加え、ダム見学会等を積極的に開催しており、道の駅「おばあちゃん市・山岡」との相乗効果による観光活性化を図っている。

■見学会の例(小里川ダム見学会)

- ・ 森と湖に親しむ旬間の一環として、7月26日に「小里川ダム見学会」を開催、昨年度の1.4倍の107名が参加。
- ・ 親子連れの参加が多く、小さな子どもが一生懸命階段を上ったり、自由研究のために親子一緒にパネルの写真を撮ったりと、賑やかなイベントとなった。



ペットボトルを使った防災操作の簡易実験



数日前の雨の影響で放流シーンを見ることができました。



ダムの水はどっちにあるかな？



最年少でしたがノンストップで登り切りました！

災害対策設備を活用した防災教育の実施

- 多治見市の4小学校において、防災教育の一環として局・多治見砂防国道事務所とも連携し、衛星通信車、Ku-SAT、照明車、排水ポンプ車及び土石流実験用模型の操作訓練体験学習を実施。

平成27年度は精華小学校、昭和小学校、脇之島小学校、池田小学校で実施



河川を利用した総合学習等の支援

- 河川を通じて、身近な自然や生物の大切さ、水質調査の体験から人の生活と河川環境とのつながりを体感する機会として、「ガサガサ調査」や「透視度調査」などの総合学習への取り組みを支援しています。

実施状況

小中学校、幼稚園・保育園、図書館等を対象に計17回の総合学習・体験学習を支援し、**約1,200名**が参加

(平成27年度)

川の水の透視度を調べてみよう



きれいに整備された親水護岸を利用し、観察場所へ移動します



タモ網を使ったガサガサ調査。どんな魚がいるかな？

タイムラインとは・・・

- 国や自治体など防災に関わる組織が連携し、事前調整を図り、台風等に対するそれぞれの役割や対応行動を定めた計画
- 計画では『いつ(台風上陸〇時間前等)』『誰が(組織)』『何を行うか(避難をはじめとした防災行動等)』を明確化

多治見市におけるタイムラインの検討経緯

- 台風による大雨により発生する内水氾濫や庄内川（土岐川）からの外水氾濫に備え、多治見市におけるタイムラインを策定するため、平成27年7月に下記の構成員による検討会を設置
- 平成28年3月までに5回の検討会を開催、多治見市事前防災行動計画（平成27年度版）をとりまとめ

<検討会の構成員>

座 長：松尾一郎氏（CeMI環境防災研究所副所長）

アドバイザー：村中 明氏（元気象庁予報課長）

構 成 員：庄内川河川事務所、多治見砂防国道事務所、岐阜地方気象台、岐阜県、岐阜県警察、消防団、住民代表
多治見市（企画防災課、予防警防課、道路河川課、福祉課、子ども支援課、下水道課、浄化センター、南消防署、教育総務課）

<検討会の経緯>

平成27年7月21日「多治見市浸水事前防災行動計画検討会」設置
「第1回 検討会」（平成23年9月台風の振り返り）

平成27年10月28日「第2回 検討会」（各組織における防災行動の抽出）

平成28年 1月12日「第3回 検討会」（防災行動のタイミングの整理）

平成28年 2月 9日「第4回 検討会」（防災行動の役割分担の整理）

平成28年 3月11日「第5回 検討会」（多治見市浸水事前防災行動計画
（平成27年度版）の確認）

多治見市浸水事前防災行動計画（平成27年度版）をとりまとめ

平成28年度 机上訓練 台風来襲時における試行運用を実施



検討会の開催状況

庄内川決壊対応タイムラインの検討（名古屋市） ＜住民目線のソフト対策＞

- タイムラインのリーディングプロジェクトとして、庄内川の決壊により地下街を含めた名古屋駅周辺地区が浸水することに備えたタイムラインを作成するため、平成26年6月から検討を開始
- 平成27年3月に「庄内川決壊対応タイムライン検討案」をとりまとめ、平成27年度は、地下空間の浸水に対する防災行動のあり方について、地下空間WGを設置し、詳細な検討を開始

タイムライン検討会構成員

座 長：松尾一郎氏（C e M I 環境・防災研究所副所長）
アドバイザー：関 克己氏（京都大学客員教授）
市澤成介氏（元気象庁予報課長）
山崎 登氏（NHK解説主幹）
構 成 員：庄内川河川事務所、名古屋地方気象台、
愛知県、愛知県警察、名古屋市、
名古屋駅地区街づくり協議会、
名古屋駅地区防火・防災管理協議会
オブザーバー：中部運輸局、中部地方整備局

地下空間WG構成員

座 長：松尾一郎氏（C e M I 環境・防災研究所副所長）
アドバイザー：関 克己氏（京都大学客員教授）
構 成 員：庄内川河川事務所、名古屋地方気象台、
愛知県、愛知県警察、名古屋市、
名古屋駅地区街づくり協議会、
名古屋駅地区防火・防災管理協議会
名鉄ビルディング管理（株）、エスカ（株）
三井不動産ビルマネジメント（株）
名古屋建物管理（株）、藤和不動産（株）
（株）ユニモール、（株）名鉄百貨店、
（株）名古屋交通開発機構、（株）近鉄百貨店

検討会の開催状況

平成26年6月 「庄内川タイムライン検討会」を設置

平成26年7月、8月 第2回、第3回検討会を開催

H26出水期に実際の台風（台風第18号、第19号）にて、
情報・危機感共有の実施

平成26年10月、11月、27年2月に、第4～第6回
検討会を開催

**平成27年3月 庄内川決壊対応タイムライン検討案
とりまとめ**

平成27年6月 第7回タイムライン検討会を開催

H27出水期に実際の台風（台風第15号）にて、
情報・危機感共有の実施

平成27年10月 第1回地下空間WGを開催

平成28年1月、3月に第2回、第3回
地下空間WGを開催

**平成28年度中
地下空間WGでの検討を踏まえたタイムラインの策定**